

フランス産業財産庁、「協働型イノベーションと知的財産権」と題する報告書を公表

2012年12月18日
JETRO デュッセルドルフ事務所

フランス産業財産庁 (INPI) は、10月4日、協働型イノベーションにおける知的財産権の管理にまつわる課題の調査結果をまとめた「協働型イノベーションと知的財産権：グッドプラクティスの紹介 (Innovation collaborative et propriété intellectuelle : Quelques bonnes pratiques)」と題する報告書を公表した。

同報告書は、INPI が PwC に委託して作成したもので、様々な分野の 40 程度に上る公的機関及び民間組織を対象に調査が行われた。

報告書は、「協働型イノベーションの出現と、それに絡む知的財産権の問題の分析」及び「協働的な取り組みにおける知的財産権の効果的な管理を可能にする 7 つの課題の提示」の 2 部構成となっている。また、様々な種類の提携に関する問題を例証する目的で、報告書全体で 9 件のケーススタディが紹介されている。

なお、本報告書は、フランス語のみで公開されており、著作権によって保護されているが、INPI より特別に許諾を得て日本語仮訳を提供することとした（下記リンク先より参照可能）。

— INPI のプレスリリースは、以下参照（フランス語） —

[Etude "Innovation collaborative et propriété intellectuelle : Quelques bonnes pratiques"](#)

— 報告書全文は、以下参照（フランス語） —

[Innovation collaborative et propriété intellectuelle : Quelques bonnes pratiques \(PDF\)](#)

— 報告書の日本語仮訳は、以下参照 —

[協働型イノベーションと知的財産権：グッドプラクティスの紹介 \(PDF\)](#)

(以上)